



プラズマビジョン<sup>®</sup>W PDS4233J-S

# 富士通ゼネラルがみせた 映画画質へのこだわり

映画画質、あるいはフィルムライク  
テレビやデジタルハイビジョンの映像とは別次元の画質の世界  
映画画質にディスプレイを近づけるには膨大な手間と時間が要求される  
フィルムライクなディスプレイとは到達が困難な世界であるといえよう  
ここに、その困難な頂きに到着したプラズマディスプレイが現れた  
長年映画プロデューサーとして映画製作に関わり、  
ディスプレイの映画画質に対して厳しい批評眼を有する評論家  
貝山知弘氏が認めたプラズマディスプレイ  
富士通ゼネラルのPDS4233J-Sが映画画質をついに獲得した

執筆/貝山知弘

撮影/井上良一

**映画を忠実に再現できる  
ディスプレイは数少ない**

店頭に並んだプラズマディスプレイに映し出されるテレビの映像は、どれもなかなか美しい。だが、ディスプレイをホームシアターの核として捉えている私にとって、DVDで見える映画の映像が、どこまで再生できるかが気になる。ごく普通に考えれば、テレビ放送の映像をしっかりと再生できるディスプレイならば、DVDの映画映像もしっかり再生できると思うはずだ。だが、必ずしもそうではない。テレビ放送を好ましく再生できるディスプレイが、映画を好ましく再生できるという公式は存在しない。テレビ放送も映画も好ましく再生するディスプレイは、(私の感覚的な数値でいえば)全モデル中の10分の1にも満たないだろう。この傾向は、プラズマディスプレイでは、さらに高い比率となる。

しかし、最近、私はテレビ放送も映画も、たいへん好ましく再生出来るディスプレイに遭遇した。富士通ゼネラルのプラズマビジョン<sup>®</sup>W PDS4233J-Sである。

**NTSC信号を練りあげ  
高水準の映画再生に至る**

PDS4233J-Sは、VGA